


事例検討会のご報告

コロナ禍（面会制限）での退院支援 ～家族が希望する看取りの形が叶わなかった事例～


2022年2月10日14時～

 ケアプランやまの 介護支援専門員 山野 敬子 氏 より事例を提供していただきました。16名の方にご参加いただき、事例の検討をおこないました。

老衰、治療の効果が見込めない方、介護者も退院を望んでいる方などの時期を逃さない退院支援について話し合いました。

○明日から取り組めること（一部抜粋）

- ・病状や現在の状況など気軽に病院に尋ねる（病院・地域連携室との関りや連携が重要）
- ・病状や状態を伝える時に、写真や映像などの情報を交えると家族など専門知識がない人でも状況が理解しやすい（オンライン面会等は有効）
- ・利用者に関わった早い段階から大切にしたいことなどについて、本人や家族の思いを何度も確認しておくことが大切
- ・どんな状況になっても、最期まで本人・家族に寄り添うことが大切
- ・制限がある中でも本人・家族のニーズに応じていくことが重要で、できることを考えたり工夫したりするプロセスがとても大切

 みなさまオンラインにてご参加いただきました



いただいたアンケートのご意見（一部抜粋）

- ・医療と介護の専門職の連携が日頃から行われていることで家族との信頼関係が生まれていくと思う
- ・家族や関係者が病状等を把握できるような工夫が必要だと改めて感じた
- ・病院・地域連携室等へ密に連絡を取ることが重要
- ・本人や家族の希望に対し、できることはないかと考え、最期まで寄り添う姿勢が大切と学んだ
- ・多職種と相談しながら必要な援助と本人の思いに寄り添える援助を考え続けたい
- ・常にできることはないかと考えるプロセスが大切
- ・今回の事例を聞いて、（入院中の）面会の必要性を改めて感じた。リモート面会など柔軟に対応できるように一歩ずつ前進していきたい

多職種と一緒に考えたい事例はありませんか？

- ・現在進行形の事例で、今後の支援に困っている
- ・ケースの振り返りをして、多職種の意見を聞いてみたい
- ・とても良いケースだったので、多職種で共有して意見交換したい

まずはお気軽にセンターまでご連絡ください！

姫路市在宅医療・介護連携支援センター

TEL : 079-295-3330 FAX : 079-295-3351

Email : med-care@himeji-med.or.jp



『地域でおこなう多職種事例検討会』
多職種と一緒に考えたい事例はありませんか？

どんな事例検討会なの？
姫路市在宅医療・介護連携支援センターでは、「地域でおこなう多職種事例検討会」を開催しています。ケアマネジャーさん、地域包括支援センターさん、訪問看護ステーションさん、病院の地域連携スタッフさんなど、様々な立場の方から事例提供をいただき、当日参加した多職種の皆さんと一緒に考えます。事例を提供していただいた事例の対応の仕方や感想などを知りたい方は、「地域でおこなう多職種事例検討会」を活用して一緒に考えてみてください。気軽な雰囲気での検討ができるようになります。

ぜひ事例検討会を活用してください！
現在、「支援に困っている」「多職種の意見を聞いてみたい」「今後の支援について考えたい」「既に事例検討していただいた事例の対応の仕方や感想などを知りたい」といった事例はありますか？ぜひ、「地域でおこなう多職種事例検討会」を活用して一緒に考えてみてください！

「一緒に考えたい！」、「疑問を聞いてみたい！」と関わりたい方は、ご自身の日程に合わせたご参加ください！
ご連絡は、メール、FAX、電話、訪問などでもOKです！
皆さまのご連絡をお待ちしています！

事例検討会の目的
●16名のみなさまがご参加にたいし、目的を改めて共有する
●自由に意見を交わし、お互いの理解を深める
●個人が持っている様々な経験や知識を共有する

事例検討会の流れ
▶事例提供者が事例を紹介する
▶ファンクターを中心に行う
●自由な質問や意見交換を促す
●自由な質問や意見交換を促す
●今後の支援について一緒に考える
★参加人数はおよそ20～30名です！
事例検討会のルール
○医療者